

論文査読セッションへのご案内

JAROS2013 年研究発表大会
期間：2013 年 11 月 8 日 (金)
場所：早稲田大学 日本橋キャンパス

日本リアルオプション学会は、2013 年研究発表大会での論文査読セッションへの論文投稿を、広く、非会員の方からも、募集いたします。この査読セッションに採択された論文は、上記の研究発表大会で、研究報告をしていただいたうえで、本学会の論文誌「リアルオプション研究」第 7 巻に、または、英文論文誌 International Journal of Real Options and Strategy (IJROS), Vol.2 に掲載されます。これら論文誌は、電子ジャーナルとして J-Stage オンライン掲載され、国内外に公開されます。

研究テーマの領域は、各種のリスクの分析、投資案件の価値づけ、ゲームおよび戦略にかかわる論文を歓迎いたします。関連テーマには、知的資産はじめ、各種オプション的な資産の価値づけ、不完備な市場での資産価値、エンターテインメント・ビジネス、エネルギー・ビジネス、M&A に係わる理論および実証分析、エージェンシー問題、インセンティブ・デザイン、組織や制度のデザインなどが含まれます。理論研究と応用研究の二つのカテゴリーに分けられます。理論研究は、オリジナリティと学術性を重視します。応用研究は、ケーススタディ、現実問題との関連性や実践的応用性を重視します。

論文募集と査読のスケジュール

査読セッションへのエントリー (申込み) 締切： 2013 年 7 月 13 日 (土)

A4 版で 2 ページ程度の要旨をご提出ください。申込用紙を、ホームページ <http://www.realopn.jp> からダウンロードして、専用フォームよりご提出ください。

エントリー審査結果のご連絡： 2013 年 7 月 23 日 (火)

この審査に合格した場合は、論文 (フルペーパー) 提出へご案内いたします。
また「論文誌規定」により、本学会非会員の方は会員になっていただきます。

論文提出期限： 2013 年 8 月 23 日 (金)

論文査読料：2 万円

論文執筆要項：本学会ホームページ <http://www.realopn.jp> での論文執筆要項をご参照ください。
原稿テンプレートもそこからダウンロードしてください。

論文査読プロセス

査読委員会は、原則 2 名の査読者に査読を依頼します。必要な改定等については、編集委員会が著者と連絡をとります。

査読セッションでの採否のご連絡： 10 月 15 日 (火)

査読結果が【採択】【条件つき採択】【要再査読】の論文は、査読セッションで発表していただきます。
【不採択】の論文は、一般セッションで発表していただきます。

査読セッションでの研究報告

JAROS2013 研究発表大会： 11 月 8 日 (金)

於： 早稲田大学 日本橋キャンパス

和文誌「リアルオプション研究」第 7 巻、および

英文誌 “International Journal of Real Options and Strategy” Vol. 2 への

掲載予定： 2014 年 2 月

論文掲載にあたっては、掲載料を徴収させていただきます。

お問合せ先：JAROS 論文誌委員会

JAROS2013 研究発表大会 論文査読セッションへの参加申込書

* 印の欄は記入しないで下さい。

	受 付 月 日	*	論 文 番 号	*	
論文 題 目	(本論文が英文になる場合も、和文での題目もお書きください。)				
論文英文 タイトル					
(ふりがな) 氏 名 (first author に○印)					
所属(勤務先等)					
本学会員の方は○をお つけください					
所属学会 (本学会会員でない方)					
著者に対する本会 からの連絡先 (くわしく)	勤務先所在地				
	同上部課名				
	連 絡 者 名				
	電 話		FAX		
	e-mail				

あなたの論文について、下記のいずれかに、○をおつけください。

- 理論研究 (Theoretical Paper): 主に、オリジナリティと学術性の観点からの査読を望む。
 応用研究 (Application): 主に、現実問題との関連性や実践的応用性の観点からの査読を望む。

あなたの論文に関連してのキーワードをお書きください。(5 ~7 個程度)

1. _____ 2. _____ 3. _____ 4. _____
 5. _____ 6. _____ 7. _____

エントリー審査結果につきましては、7 月 23 日頃 ご連絡予定です。

論 文 要 旨

(別紙に、1~2ページの論文要旨をお書きください。本論文が英文になる場合は、論文要旨も英文で結構です。)